

平成27年10月1日
株式会社七十七銀行

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」への参画について

株式会社七十七銀行(頭取 氏家 照彦)は、地方創生に関する取組強化の一環として、東北学院大学が中心となり、県内12の大学等が連携して実施する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(以下、「本事業」という。)へ参画いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本事業は、政府が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「ひと」の地方集積等の促進を目的に、地域経済に対して新たな活力を与える企業の担い手の育成や地域企業・産業の魅力向上を通じて、宮城県の地方創生に貢献する取組みです。

当行は、今後も地域の産官学金の各主体と連携を強化し、地方創生の取組みを積極的に推進してまいります。

【地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)】

「COC」は「Center of Community」の略称。文部科学省の公募事業であり、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組みを支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする。

記

<本事業の概要>

事業名	みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成
目的	宮城県にある12の高等教育機関がそれぞれ有している教育プログラムを相互に単位互換し、より実効性の高い地域人材の連携型育成プログラムの構築を目指す。
申請事業者	東北学院大学
事業協働機関	<ol style="list-style-type: none"> 参加大学 宮城教育大学、東北工業大学、石巻専修大学、尚絅学院大学、仙台大学、仙台白百合女子大学、東北生活文化大学、宮城学院女子大学、聖和学園短期大学、東北生活文化大学短期大学部、仙台高等専門学校 参加自治体 宮城県、仙台市 参加企業等 当行、株式会社仙台銀行、NPO法人ETIC.、一般社団法人ワカツク、株式会社知識創発研究所
当行の役割	<ol style="list-style-type: none"> 地域高度人材の育成を目的とした教育プログラムの策定に関する助言 経営革新や戦略的課題の解決に意欲を持つ地域企業の紹介 人材育成指標の策定に関する助言 本事業全体の方向性、事業進捗や成果に関する評価・助言

以上

(参 考)

東北学院大学 みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成



東北学院大学 (COC/COC+大学)	事業創造型インターンシップによる、地域企業の経営課題の解決と学生の主体的かつ深い学びの実現	東北工業大学 (COC)	産業界の指導的な技術者として社会貢献できる人材育成のための、地元企業の創造的インターンシップ体制の構築
宮城教育大学 (COC)	県内中学・高校生への地域型キャリア教育実践モデル開発による、学生の目的意識と社会人基礎力向上	石巻専修大学	大学入学直後の「地域協働プログラム」の実施による、職業観の形成
尚綱学院大学	「総合型地域志向学修プログラム」による地域の職を支える人材の育成～地域とともに「学ぶ」「つながる」「伝える」～	聖和学園短期大学	アクティブ・ラーニングの積極的導入による地域貢献意識の向上
仙台白百合女子大学	女子学生を対象としたキャリア支援による、女子学生のキャリアアップ	仙台大学	地域協働のスポーツ健康科学分野の取り組みを行い、活力ある人材育成と地域への就業促進
東北生活文化大学	地域企業との共同研究に基づく、企業の事業発展と雇用創出	東北生活文化大学 短期大学部	地域企業との共同研究に基づく、企業の事業発展と雇用創出
宮城学院女子大学	女子大学の強みを生かした経営革新支援による地元企業の雇用創出	仙台高等専門学校	地域内企業との協働による地域課題解決のためのインターンシップ、PBLフィールドワークを実践し、成果を元にした新規事業への展開・起業をサポート

ディープ・アクティブラーニング：学習形態に重点を置く単なるアクティブラーニングではなく、学習の質や内容を問うカリキュラム・学習環境・教育手法・評価手法 (参考文献：松下佳代著『ディープ・アクティブラーニング 大学授業を深化させるために』)

作成：東北学院大学